

(様式2)

## 協働パイロット事業（H21）企画提案書

団体名：教育活動支援の会

### 1. 事業の名称

学校支援事業並びに地域教育支援事業の推進

### 2. 事業方針

家庭に問題のある子や、生育歴に問題を抱えている子どもが増えてきている。たとえその障害をどんなに大きく背負っていたとしても、ひとりの人間、ひとりの子どもであることには変わりはないという教育姿勢に立ち、豊富な教育経験のある私たち支援者は、一人ひとりの子どもに心から満たされる愛を注いでサポートすることが事業の基本方針である。

#### (1) 学校支援事業の方針

学校現場では、新1年生の学習支援事業・TT指導・不登校児童生徒の個別指導・学習遅進児童生徒対策・障害児童生徒への対応・学習不適応児童生徒への個別指導等々、児童生徒個々に対応した指導をしていかななくてはならないのが現在の学校現場の実状である。

このような課題に対応していくために、学校及び静岡市教育委員会の要請に応じて退職教職員を派遣している。

退職教職員の熱意と善意による全くのボランティア活動として無報酬で献身的に取り組んでくれている。

その善意に報いるためにも、せめて実費位は支給してあげたいと思うのは人情である。全くの無報酬では、この学校支援活動を恒久的に継続していくことは困難であろうと危惧している。

#### (2) 地域支援（教育相談）事業の方針

退職教職員による「教育相談事業」を、江尻生涯学習館と共催（場所の提供）で現在推進している。

昨年度からの発足で未だPRが不足している感がある。教育相談事業の存在が知り渡れば、さらなる相談活動は充実していくものと推測される。

以上、2つの事業を推進し、成果を挙げるためには、有能な人材の確保・交通費・教材費等の必要経費の支給・研修費、会議費等の最低必要経費は欠かせないので、この面での市の援助を要請する。

### 3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

#### 教育活動支援の会の役割

##### (1) 学校支援活動の事業

「教育活動支援の会」は、「小中学校」及び「静岡市教育委員会」の要請に応じて、ボランティア活動に登録されている退職教職員を要請学校に派遣する事業である。

##### <実績>

初年度の19年度は、要請校数延べ＝14校・支援者延べ人数＝20名

20年度は、要請校数延べ＝112校・支援者延べ人数＝176名

支援者は一定期間勤務されるので、延べ日数は相当数になる。

今後、要請校は相当増えるものと予想される。学校及び市教委の要請に十分対応していくための人材確保が緊急課題である。

##### (2) 教育相談事業

上記、学校支援事業を通して感ずることは、子どもの家庭教育や地域の教育力の低下である。例えば、保護者の中には、子どもの教育や躾・人間関係等のことで困ったり悩んだりしている方が相当数いるように考えられる。

しかも、誰にも相談できずに問題を大きくしてしまっている例が多い。

現在、静岡市の中心地には「子ども青少年相談センター」があるが、保護者の身近な所で手を差し延べてあげることができれば、救われ保護者もいるのではないかとの発想の事業である。

#### 2つの事業を推進していく私どもの役割

- (1) 学校・家庭への啓発活動
- (2) 支援のための研修
- (3) 有能な要員の確保
- (4) 地域自治会との情報交換

#### ○行政に望むこと

支援活動自体は、総てボランティアであるので資金的にもゼロである。にもかかわらず、当事者との通信費・交通費・研修費はかなりの額になっている。ボランティア会員の善意に頼るのでは継続性には限界がある。この面での市の援助を切にお願いしたい。

#### 4. 成果目標

##### (1) 学校支援事業

小中学校の教育支援が目的であるので、学校の要請に応じ適任者を派遣支援する事業である。

学習困難児・学習不適応児や保健室登校児童生徒の個別指導及び担任教師の補助的側面的支援を行い、児童生徒の学習意欲の向上や、生活指導・生徒指導を通して、個々の児童生徒のつまずきの解消に努めていくための援助を行う。

支援成果としては、対象児童生徒の学習へのつまずきの解消、学習への参加意欲の向上、生活態度の矯正、登校意欲付け等々、個々の児童生徒の適応指導である。

##### (2) 地域支援事業

地域の保護者、子ども、住人が気軽に相談に訪れやすいような環境づくりを行うとともに、毎月10人～20人程度の来訪者を目標にしている。

## 5. 事業計画

### (1) 学校支援の事業計画

あくまでも学校からの要請に基づいて支援活動をすることを原則とし、学校の要請内容に応じて適任教職員を派遣するのである。

教育課程実施に当たり、学校の計画段階で要請の必要性が明確であればその時点で要請されてくる。

また、学校の教育活動を推進していく過程で、派遣要請が発生することも出てくるので、それに対応した派遣要員を常時確保していくことは大切な業務内容である。

よって、事業計画は支援側にあるのではなく、要請する学校側の主体性にある。また、そうでなくてはいけないことをご理解願いたい。

### (2) 地域支援の計画

当面は、火曜日10:00～15:00を教育相談日とする。

また、毎月相談員の全体研修・意見交換会を計画し、相談事業の充実に努めていく。

## 6. スケジュール

事業内容は上記の通りであるので、事前計画は学校の要請如何による。事前準備としては、現在退職教職員の登録者は66名確保しており、学校側の要請に対応できる体制は整えている。

しかし、それでも要請に応えられない場合を想定し、現在も登録メンバーの勧誘拡大に努力している。

事業報告は、学校の要請実績を報告することとする。

### 年間スケジュール

5月 会報の発行により詳しい活動状況を学校・地域に伝える。

6月 支援要員の募集

7月 支援要員に対する会報の発行・学校訪問による意見交換

9月 地域・自治会との懇談・情報交換

10月～11月 事業の啓発月間・新聞等への掲載依頼

1月～2月 事業の反省

3月 新年度事業計画作成

団体名：教育活動支援の会

## 7. 実施体制及び主要スタッフの経歴

NPO法人正会員	41名	(男24名・女17名)
NPO法人準会員	12名	(男6名・女6名)
学校の支援活動登録要員	66名	(男37名・女29名)
江尻生涯学習交流館「教育相談室」スタッフ	8名	(男4名・女4名)

スタッフの経歴：全員退職教職員である。

## 8. 特にアピールしたいこと

今日の社会の急速な変動と価値観の多様化は、さまざまに混迷した社会現象を出現させ、日常生活の在り方をも大きく変えてきている。こうした、社会情勢の中で、学校教育に対する期待はますます高まってきている。一方では、家庭教育や地域の教育力の低下が問題となっている。しかるに、現在、学校内では、いじめ・不登校を始め問題行動が増加傾向にあり、学校教育が根底から揺さぶられ苦悩する事態が生じている。そこで、私たち元教職経験者は、この状況を憂慮し、何か手伝えることはできないか呼びかけたところ初期に50名の賛同者を得、平成19年5月から「教育活動支援の会」を結成し活動を始めたのである。

なお、「地域支援」は家庭・地域の教育力の低下や、保護者の子どもの教育に対する悩みの多さを知り、平成20年10月から教育の基盤である家庭教育の支援を計画したものである。

## 追記&lt;啓蒙活動&gt;

各学校に対しては、スタッフ(推進委員)が訪問し「ボランティアによる学校支援活動」の趣旨および登録メンバー等について詳細に説明をしている。また、文章によって再三再四啓蒙活動をしている。

「教育相談」については、江尻生涯学習交流館(共催)より近隣の入江・辻等を始め市内の生涯学習交流館にチラシの配布を依頼して周知を徹底に努めている。

「静岡新聞」・「毎日シミズ」には、既にPR文を掲載広報して頂いている。また、「FM清水放送」にてPR放送を実施した。

(様式3)

協働パイロット事業 (H21) 見積書

団体名：教育活動支援の会

企画のタイトル

— 新しい未来社会を築く子どもたちのために —  
学校・地域教育のサポート

	項目	金額	説明
1.	事業費	150,000	支援者の交通費・教材費 支援者の交通費・教材費
	* 学校支援事業	100,000	
	* 地域支援事業 (教育相談)	50,000	
2.	管理費	70,000	会報の発行・支援者依頼等の通信連絡 用紙代・印刷費・文具代 定例会(毎月実施)
	* 通信費	30,000	
	* 消耗費	20,000	
	* 会議費	20,000	
3.	予備費	15,000	
小計 A		235,000	
消費税 B = A × 0.05		11,750	
合計 A + B		246,750	

◎実費弁償契約の希望の有無                      有                       無

企画提案の概要書

(様式4)

<p>提案 団体名</p>	<p>教育活動支援の会</p>
<p>企画の タイトル</p>	<p>—新しい未来社会を築く子どもたちのために— 学校・地域教育のサポート</p>
<p>提案 の 要旨</p>	<p>*悩める君へ。悩める親御さんへ。</p> <p>—一步を踏み出してはみませんか。</p> <p>&lt;悩み苦しんでいる君へ&gt; 友人関係で悩み、学習が思うようにいなくて悩んでいる君。 誰にも相談できず一人で悩み、不安な日々を送っている君。 君の悩みを聞こう。君と一緒に悩もう。一緒に考えよう。 そして、少しでもよい、一步の前進をしようではないか。 君がこの相談室に足を向けるとき、君の前に道は開ける。 勇気を持ってその一步を踏み出そう。君を待っているぜ。</p> <p>&lt;悩んでいる親御さんへ&gt; 子どものことで悩んでいらっしゃるあなたへ。 一人で悩むのはよみましょう。子どもは自分の命。 子どもの悩みは自分の悩み。だから悩むのです。分かりますその気持ち。 でも、一人で悶々と悩んでいても解決にはなりません。 あなたと一緒に悩みましょう。 あなたと一緒に、前途に明るいきざしを探しましょう。 あなたの踏み出すその一步が、子どもを救う道ですから。</p>

子育てサポート教育相談室

会場 江尻生涯学習交流館（3階）

住所 静岡市清水区小芝町3-35

電話 054-367-3321